

おばあちゃんの笑顔のために

西尾市立幡豆中学校 3年 山本 里瀬

「行ってらっしゃい、おばあちゃん。」

「じゃあ、いつてくるね。」

私の祖母は、二年前からデイサービスの施設に通っています。祖母は糖尿病を患い、左手と下半身の麻痺で介護が必要になったからです。それまでの祖母はとても元気で、祖母に会いに行くとよく昼食やおやつを作ってくれました。しかし、身体が不自由になってからは常に家族の助けが必要となりました。そこで、家族の負担を減らすため祖父がデイサービスを利用することに決めました。

祖父から聞いた話では、祖母は週に三日、朝から夕方までをデイサービスの施設で過ごしているそうです。送迎や入浴、食事やお楽しみ会などのイベントもさせてもらっていると聞きました。すごく良いサービスだと思うと同時に、どれだけのお金を払わなければならないのだろうか。祖父の経済的な負担は大丈夫なのだろうか。と、疑問がわいてきました。気になったので、祖父に聞いてみました。すると祖父は、

「利用料金の負担は、たった一割で残りの九割は、税金でまかなわれているんだよ。税金のおかげでおばあちゃんの介護はすごく助けられているんだよ。」と私に教えてくれました。さらに、介護用のベットや車イス、段差を越えるためのスロープまでも税金でまかなわれているんだと話してくれました。祖父の話聞いて、税金がすごく身近なことに使われていて、驚きました。そして税金は、祖母や私たち家族の幸せを守ってくれているんだと実感しました。

日本は、現在世界一の長寿国です。少子化高齢化が同時に進んでおり、これからはさらに総人口に占める高齢者の割合が増加していくと考えられています。だから国民の皆が元気に安心して暮らしていくためには、社会保障の充実が必要不可欠なのです。社会保障の充実には、たくさんのお金がかかります。そのお金のほとんどは、私たちが日々納めている税金によって負担されています。だから消費税の増税は、皆がずっと安心して幸せに暮らしていくためには仕方のないことではないだろうか。増税はいやだなと感じることもあるかもしれませんが、しかし「塵も積もれば山となる」ということわざがあるように、たった数十円のお金でも日本にいるたくさんの人が協力すれば、困っている人や苦しんでいる人を救うことができます。そう考えると税金を納めていることは、誰かの幸せを願う優しい行動であると思います。

あと数年経ったら私は社会人になります。そして、今よりも多くの種類の税金を納めていかなければなりません。その時、税金が本当に私たち国民のために使われているのかについてしっかりと関心を持っていきたいです。税金の大切さについて、もっと多くの人が理解し、笑顔と優しさが広がっていくことを願って。